

三洋貿易株式会社(証券コード：3176) 会社説明会

世の中の課題解決に貢献し、人と地球の笑顔をつくる



代表取締役社長 新谷 正伸

2024年12月8日

目次

01 当社概要・業績

02 当社の強み・高収益性

03 成長戦略

04 株主還元

目次

01 当社概要・業績

02 当社の強み・高収益性

03 成長戦略

04 株主還元

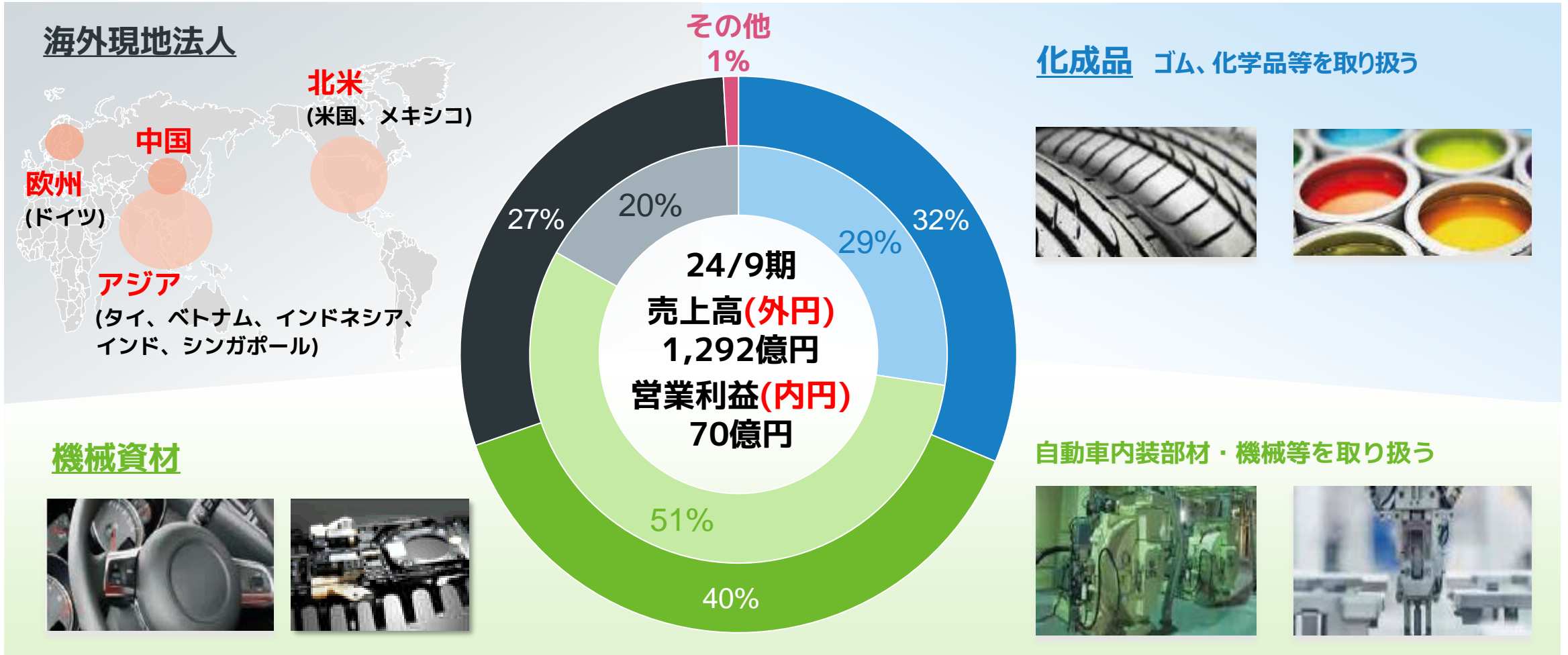
会社概要

会社名	三洋貿易株式会社
設立	1947年(昭和22年)5月
資本金	10億658万円
拠点	国内：東京、大阪、名古屋、広島 海外：アメリカ、中国、タイ、ベトナム、インド、メキシコ、 インドネシア、シンガポール、香港、ドイツ = 国内4拠点 = 海外10カ国15拠点
国内子会社	三洋機械工業、コスモス商事、日本ルフト、三洋テクノス、 日本フリーマン、三洋ライフマテリアル、ワイピーテック、 スクラム、新東洋機械工業、コスモ・コンピューティングシステム、 KOTAI バイオテクノロジーズ = 国内11グループ会社

* 2024年9月期末時点

事業概要

■ 3セグメント(化成品・機械資材・海外現地法人)における売上高・営業利益の内訳



注:セグメント別売上高・営業利益比率は、連結調整前の数値をもとに算出

4つの注力市場

■ 市場拡大を見込むニッチで高付加価値な**4つの市場に注力** ※開示セグメントも変更

ファインケミカル

(主要取扱い製品)



合成ゴム



ワックス

(最終用途)



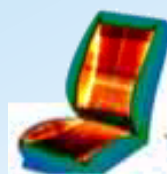
タイヤ



インキ・印刷物

インダストリアル・プロダクツ

(主要取扱い製品)



シートヒーター



ランバーサポート

(最終用途)



モビリティ

サステナビリティ

(主要取扱い製品)



家畜飼料製造機材
(ペレットミル)



熱電供給ユニット

(最終用途)



再生可能エネルギー



畜産飼料

ライフサイエンス

(主要取扱い製品)



電子材料



検査機器

(最終用途)



電子機器・バッテリー
研究開発 品質管理

こんなところに三洋貿易

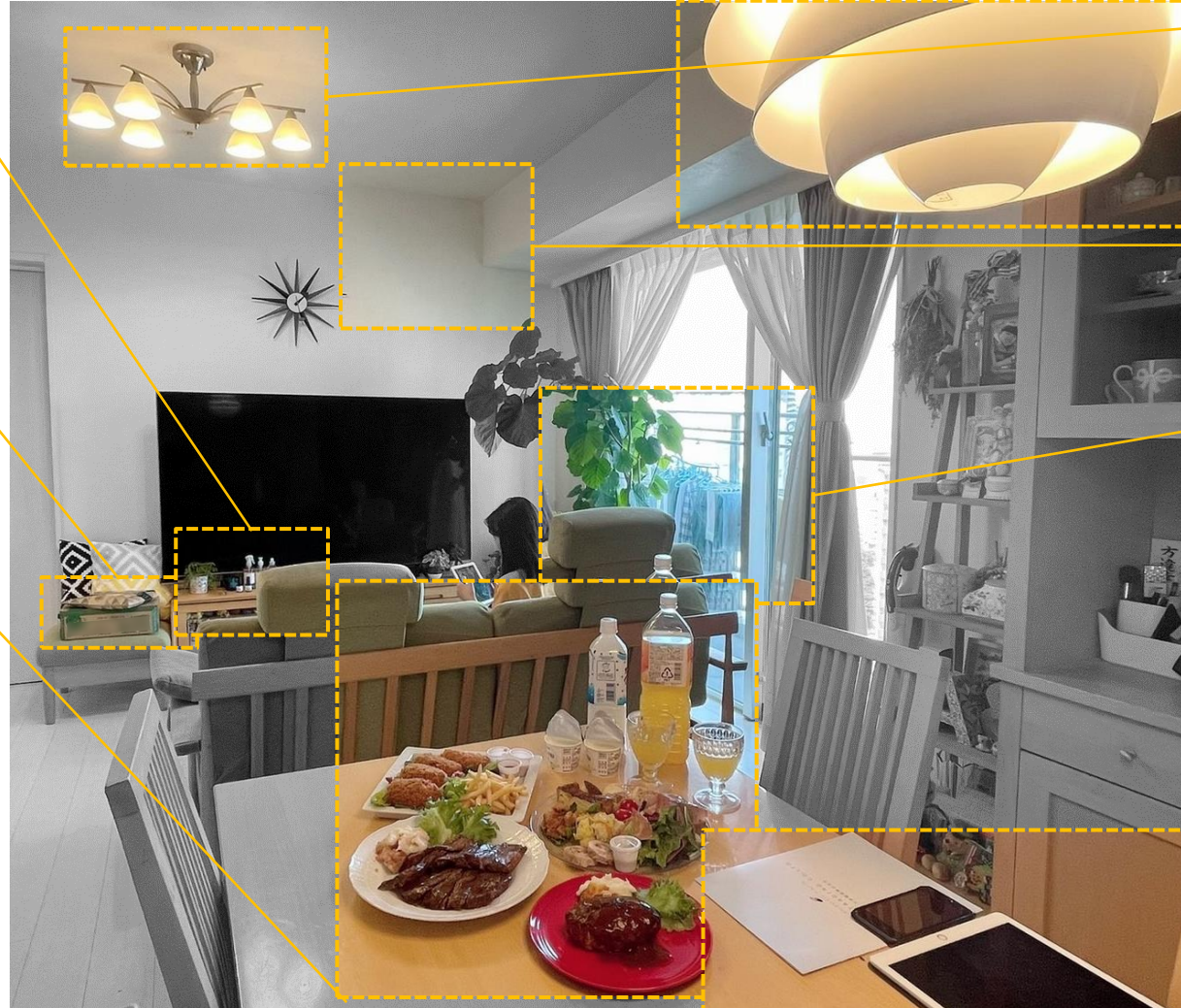
■ 最終製品は生活と密接に関わり、当社が目指す「よい仕事」に繋がっています

環：環境配慮型商材

化粧品
<スキンケア、プラセンタ等>
化粧品原料・化粧品容器

梱包材
<段ボール>
糊付け装置・接着剤（グルー）

食卓
<ステーキ>
肉質向上等の添加物
<冷凍食品>
日持ち向上用途の添加物
<ヨーグルト>
内フタの接着剤
<飲み物>
呈味(ていみ：食べ物の味)
を付与する添加物
<健康食品>
タウリン



電力
<電気供給>
国産間伐材木質バイオマス 環
風力発電/地熱掘削関連機器 環

壁
<接着剤>
建材用の接着剤

洗濯物
<洗濯用洗剤>
環境対応型界面活性剤 環

電子機器
<TV・タブレット>
放熱用副資材
液晶ディスプレイ関連原料
プラズマ装置（表面処理）

雑誌
<印刷物>
UVインキ/UVコーティング原料 環

*写真はイメージです。

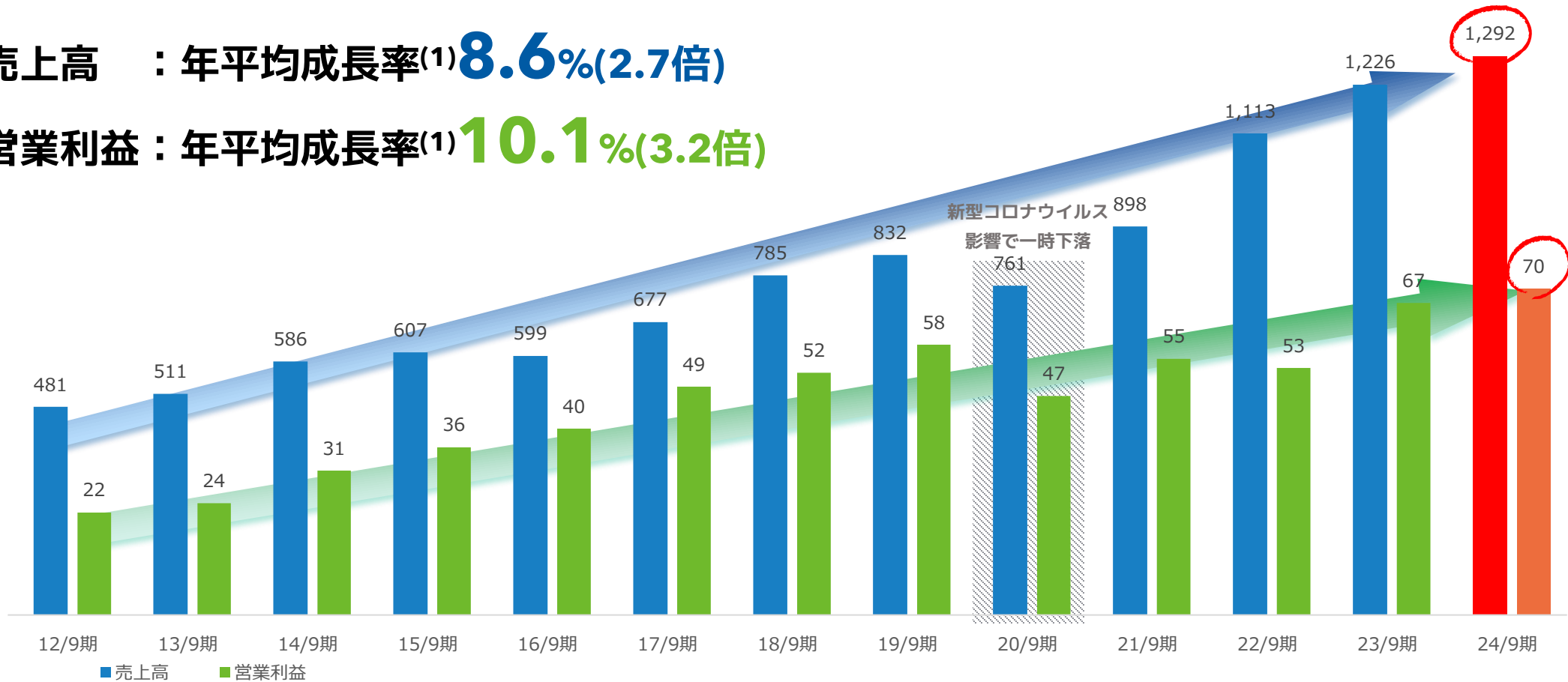
業績推移

■ 2012年の上場以降、中長期的に安定成長を実現。24/9期も**過去最高の売上高・利益を更新**

上場来の売上高・営業利益の推移 (単位：億円)

売上高：年平均成長率⁽¹⁾ **8.6%**(2.7倍)

営業利益：年平均成長率⁽¹⁾ **10.1%**(3.2倍)



注:12/9月期~24/9月期における期間

目次

01

当社概要・業績

02

当社の強み・高収益性

03

成長戦略

04

株主還元

当社の強み(三洋モデル)

■ 単なる「モノ売り」ではなく、一気通貫でフルサポートサービスを提供するソリューションプロバイダー

専門知識とノウハウを活かした「技術系営業」

「1商品1仕入先」による高付加価値商材

グローバルネットワーク
10カ国15拠点に展開

調査・企画

設計・開発

試作

保守・アフターサービス

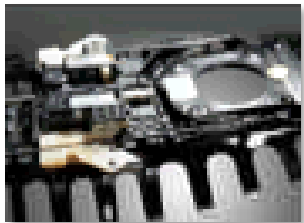
設計・開発から保守までお客様の製造を一気通貫でフルサポート

量産

ジャストインタイムでの安定供給

お客様に寄り添ったソリューションを提供

お客様



ランバーサポート

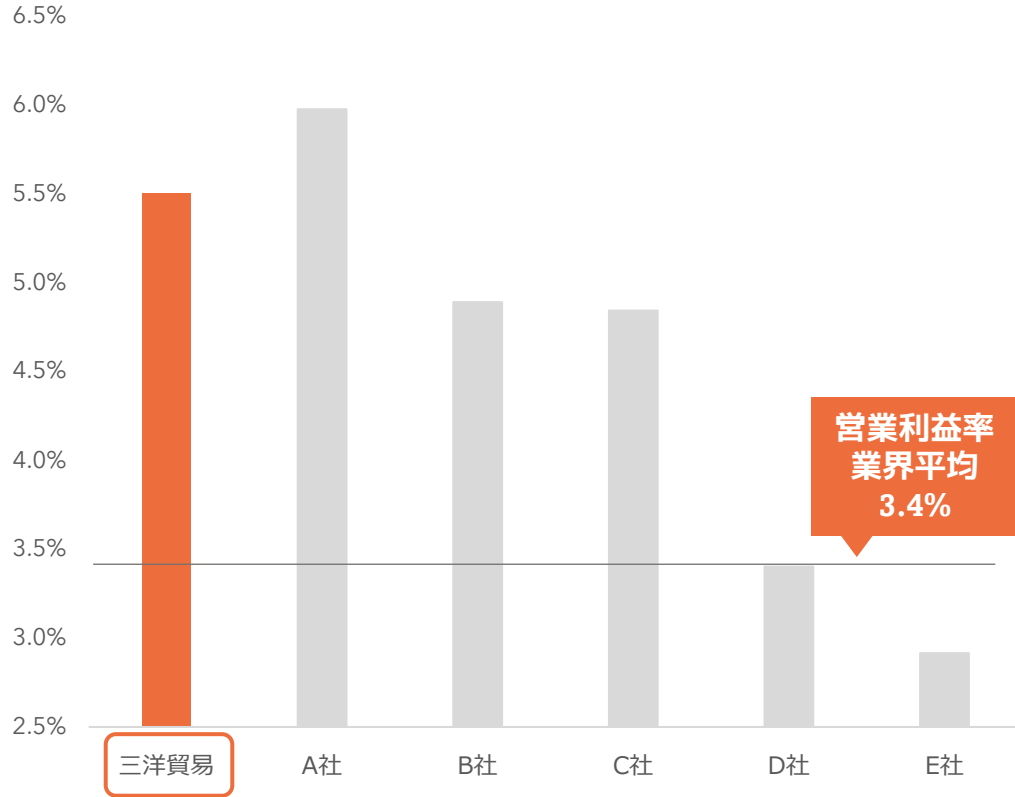


シートヒーター

高い収益性及び資本効率性

営業利益率

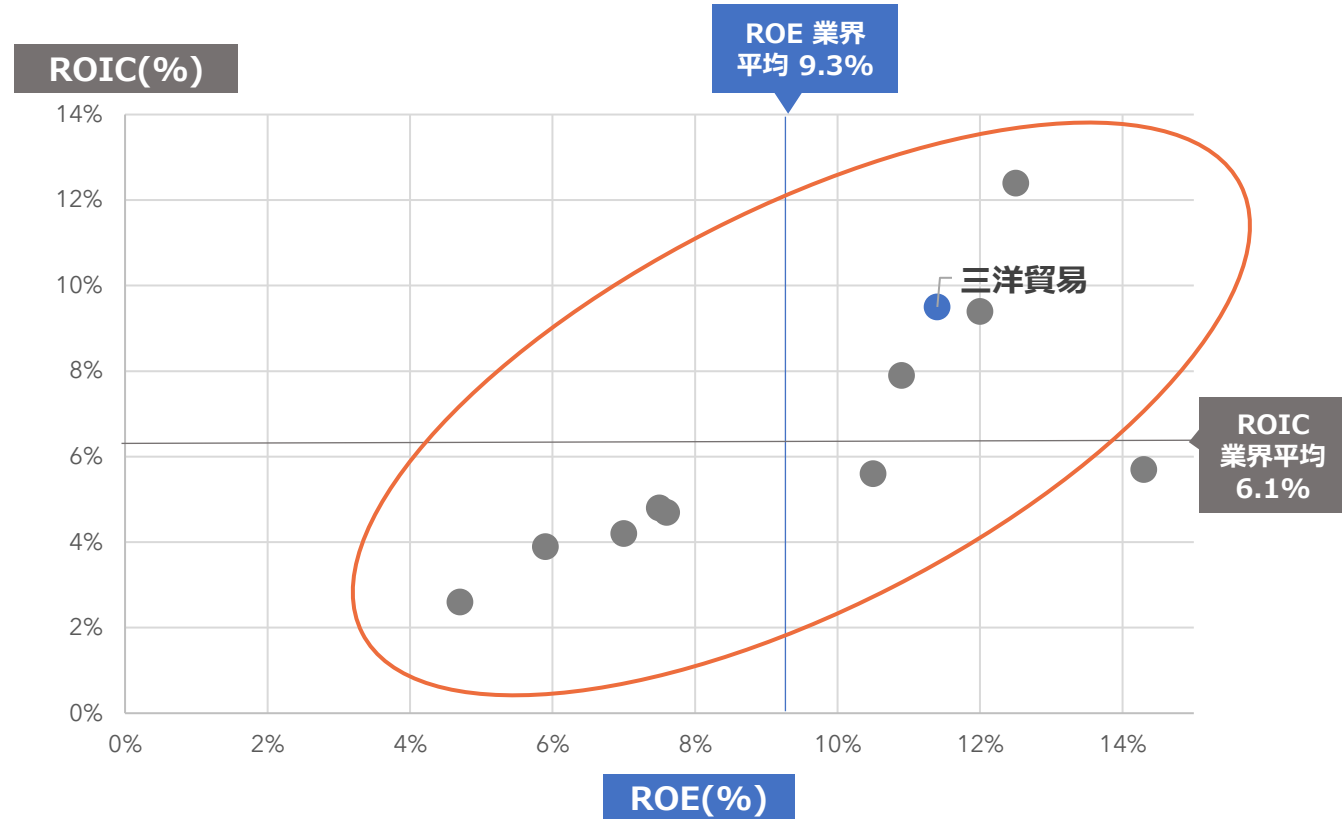
業界トップクラス



* 比較会社：三洋貿易、専門商社 合計11社 以下五十音順
 (稲畑産業、岩谷産業、岡谷鋼機、極東貿易、第一実業、蝶理、長瀬産業、明和産業、ユアサ商事、GSIクレオス)
 * 2024年3月期通期決算期(三洋貿易は2024年9月期)の値。上記A~E社はその中の上位5社
 * 引用元：有価証券報告書

ROE/ROIC

業界トップクラス



* 比較会社：三洋貿易、専門商社 合計11社(左記と同会社)
 * 2024年3月期通期決算期(三洋貿易は2024年9月期)の値
 * ROE = 親会社の所有者に帰属する当期利益 ÷ 純資産 (新株予約権・非支配株主持分を控除：期首・期末平均) × 100
 * ROIC = 税引後営業利益 ÷ 期末投下資本 (= 有利子負債 + 自己資本)
 * 引用元：有価証券報告書

目次

01

当社概要・業績

02

当社の強み・高収益性

03

成長戦略

04

株主還元

2028年9月期に向けた成長戦略

■ SANYO VISION 2028の目標 **営業利益90億円**達成に向け、投資を有効的に実施

■ 成長戦略は「**三本の矢**」

成長投資の対象

事業投資

DX関連
投資

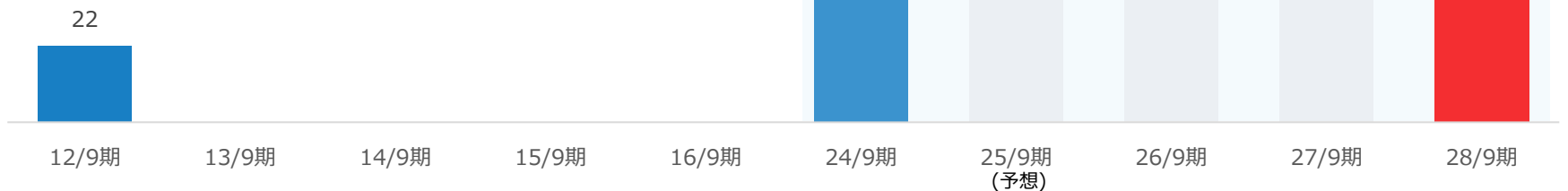
人的資本
投資

成長戦略：三本の矢

- 潜在コアビジネスの果実化
- M&Aの推進
- 事業開発室の取り組み

営業利益額の推移

(単位：億円)

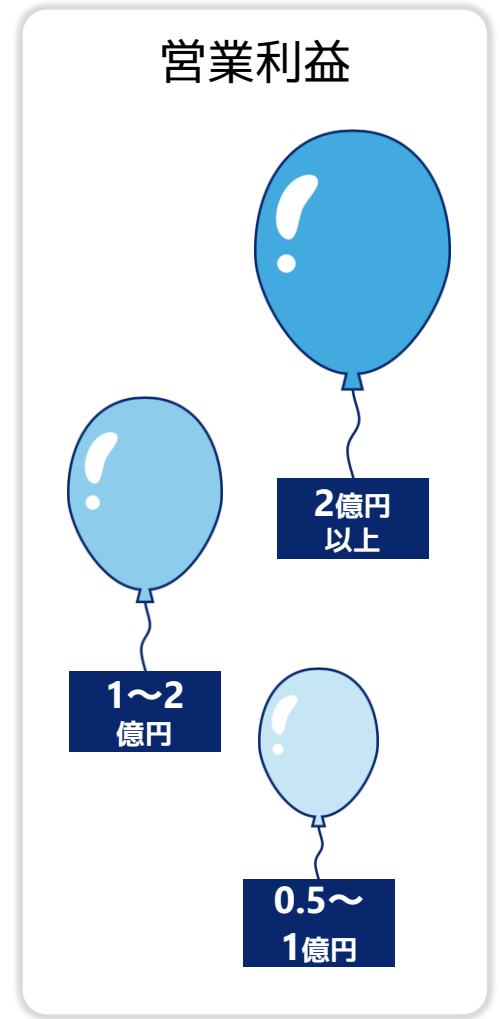
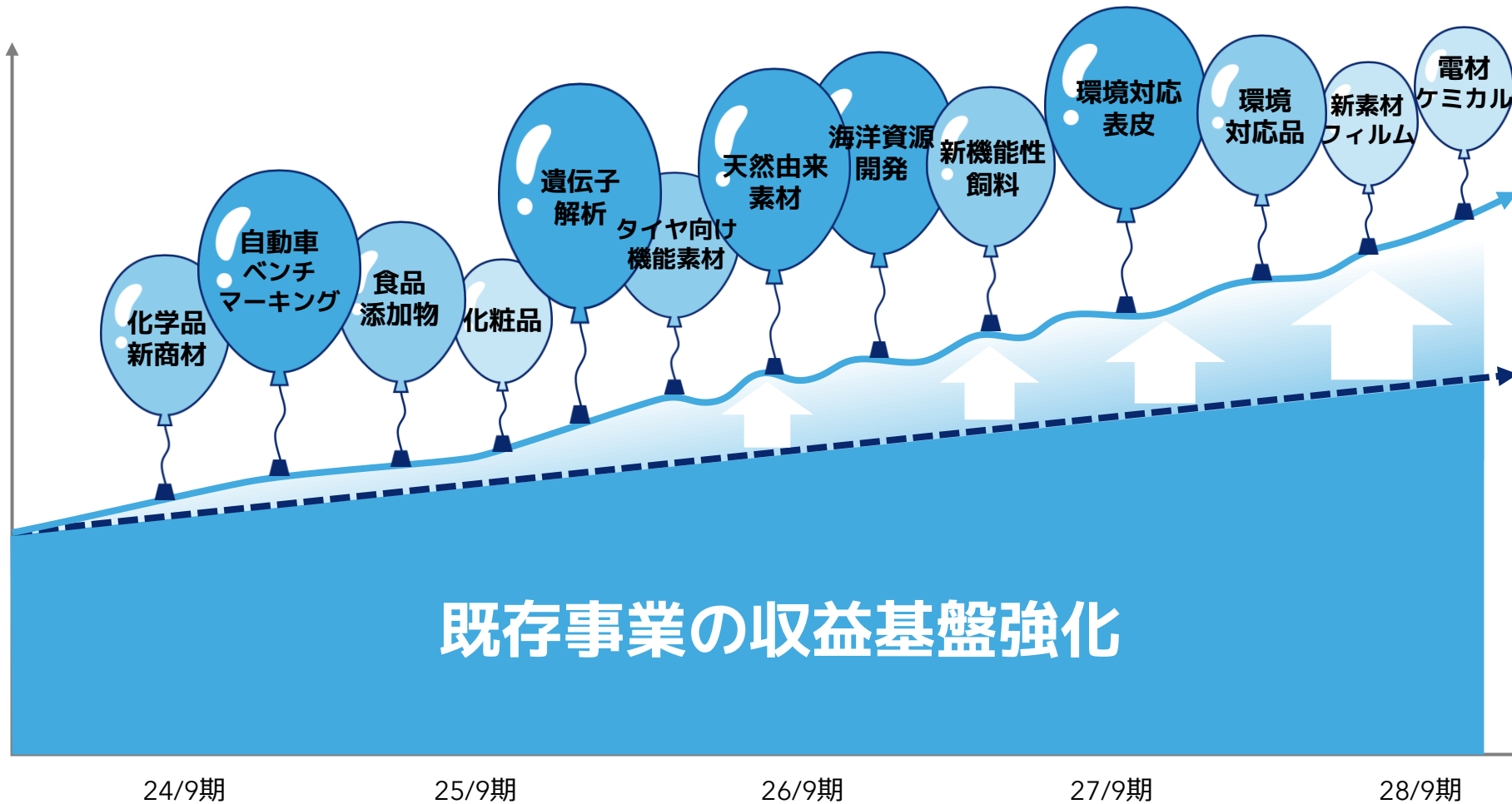


SANYO VISION 2028期間

90

「三本の矢」：潜在コアビジネスの果実化

■ 潜在性を秘めた案件開拓と果実化を推進



潜在コアビジネスの例 ①

サステナビリティ

洋上風力発電

「再生可能エネルギーの開発を通じ、幸福で持続可能な社会創りに貢献する」

- 洋上風力発電の機器提供。多様な機器の取扱いによりお客様へのトータルソリューション提供が可能

【着床式 洋上風力発電】



水深の浅い海域での着床式

【浮体式 洋上風力発電】

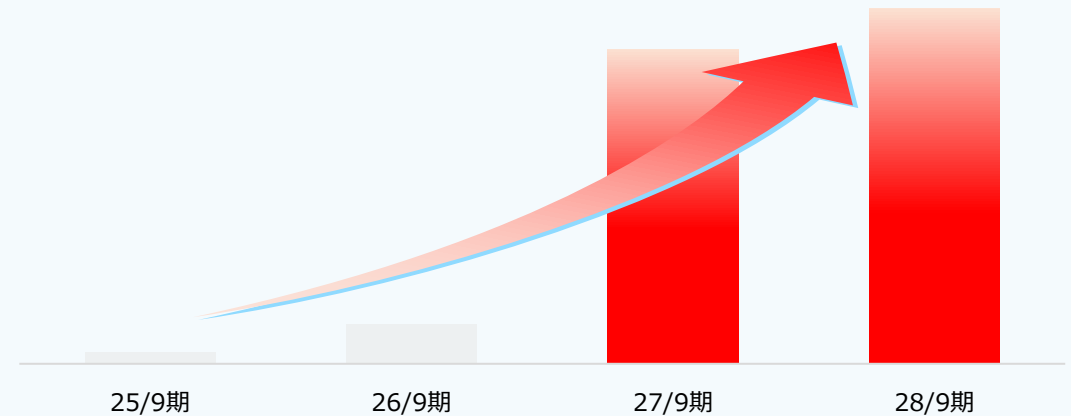


水深の深い海域での浮体式

今まで設置が適わなかった海域で発電が可能

(洋上風力発電 売上金額イメージ)

※着床式、浮体式の合算



- 浮体式の進行に伴い
27/9期から本格的な収益化実現を目指す

潜在コアビジネスの例 ②

インダストリアル・プロダクツ

自動車ベンチマーキング事業の深化

- 電動化で先行するグローバル企業車種を細部まで分解
- 最先端の研究材料を提供。「モノ売り」から「コト売り」

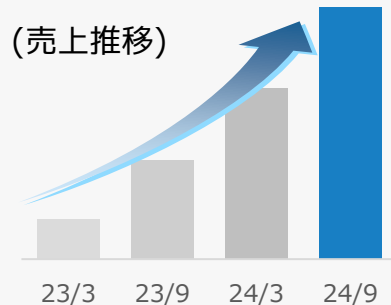


瑞浪展示場 展示会場



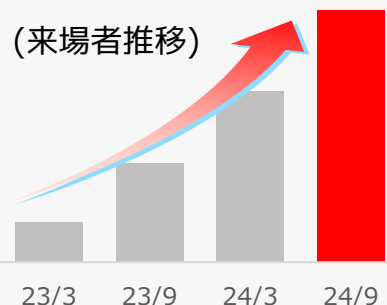
スキャンデータイメージ

データ販売
売上高前年比
250%



来場者数
7,000人
突破

※2023年9月末：約4,000人



展示車数
16台
に拡大

※2023年9月末：10台

潜在顧客
拡大中

自動車メーカー
部品・材料メーカー
官公庁等

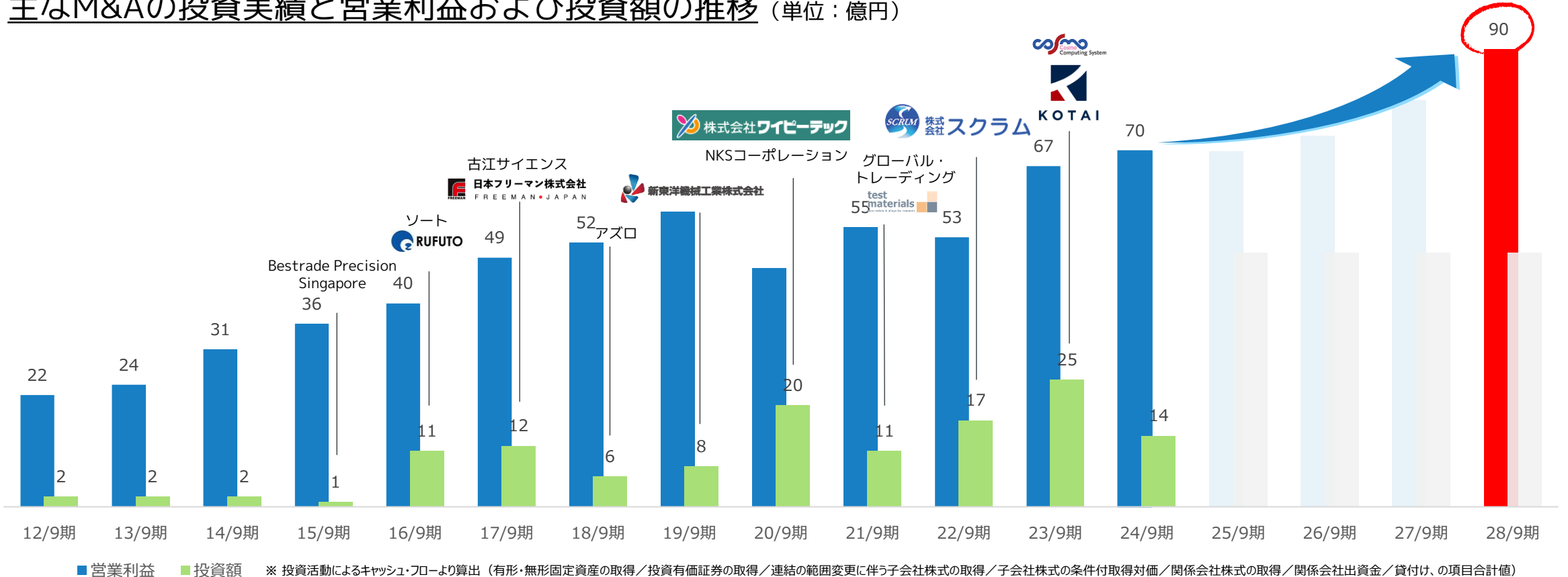
車両分解
解析情報
170台超

- 展示車数：2024年10月に**20台に拡大**
- 新聞等メディアへの掲載も多数展開中

「三本の矢」：M&Aの推進

- 年間1～2件実施のM&Aが着実に利益貢献。足元の投資案件も進捗中
- 成長分野への投資を加速し、営業利益90億の達成を目指す

主なM&Aの投資実績と営業利益および投資額の推移（単位：億円）



M&Aを含む投資の基本方針

総額200～300億円の成長投資を予定(24/9～28/9の5年間)

～良質案件を厳選して投資実行～

① 3つの前提条件

事業を強くする
相乗効果

当社の
海外展開加速

将来の
成長性

② 保有方針

長期保有
を原則

自らオーナーシップを持って
事業運営を行う

キャピタルゲイン狙いの
投機はしない

③ 出資比率

マジョリティ取得を基本スタンス

④ 財務規律
(目安)

自己資本比率

50%以上

D/Eレシオ

0.5倍未満

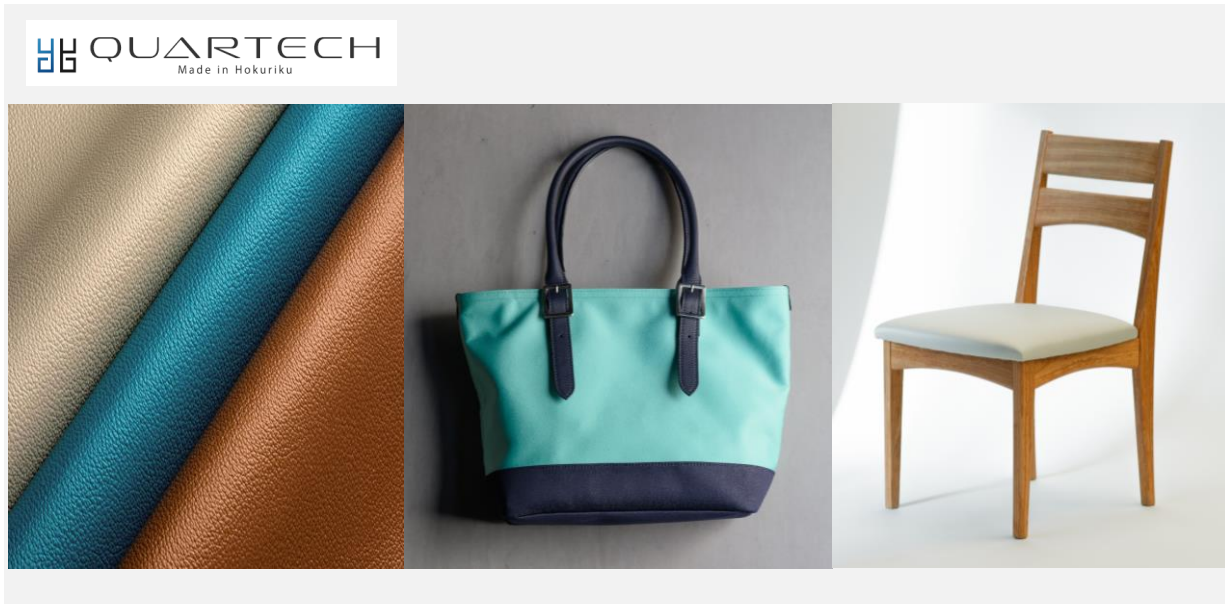
「三本の矢」：事業開発室の取り組み

■ 注力市場を俯瞰し、大きな成長を期待する有望なビジネスを開発する専任組織

<サーキュラーマテリアル: QUARTECH>

「繊維から、まるで本革のような新しい生地を作る」

- 化学に強い当社と繊維に強い森常（株）との共同開発品
- 環境配慮型商材※としても貢献



環境配慮型商材とは

サステナビリティ委員会が中心となり、「環境負荷の低減」や「心豊かな暮らしの提供」に結びつく商材の取扱い拡大を目指す当社独自の活動

(取扱商材の種類数)
2024年10月
37件



(取扱商材の種類)
2024年4月
33件

DX関連投資、人的資本投資

成長投資の対象

事業投資

DX関連投資

人的資本投資

【DX関連投資】

基幹システム「React」始動
2024年10月から稼働開始



- 販売管理、在庫管理・財務会計
- 国内グループ会社へ順次導入予定

想定される成果

- ✓ 柔軟な改善、機能追加への対応
- ✓ 内製による開発・保守コストの削減
- ✓ 将来のDXへの対応可能、業務効率化

【人的資本投資】

Sanyo Growth Style
人材の数 × 人材の質

- 採用の多様化（リファラル、スカウト型）
- **Sanyo アカデミー** 本格稼働
（OJT制度、投資人材育成）

Sanyo Governance Code
自由闊達の基盤強化

- BCPの再構築
（防災week、緊急時シミュレーション訓練）

Sanyo Work Style
D&I、多様な人材
多様な働き方の推進

- 育休職場応援手当制度
男性育休取得の促進
（2024年9月期：100%取得）
- D&I推進

目次

01

当社概要・業績

02

当社の強み・高収益性

03

成長戦略

04

株主還元

株主還元について

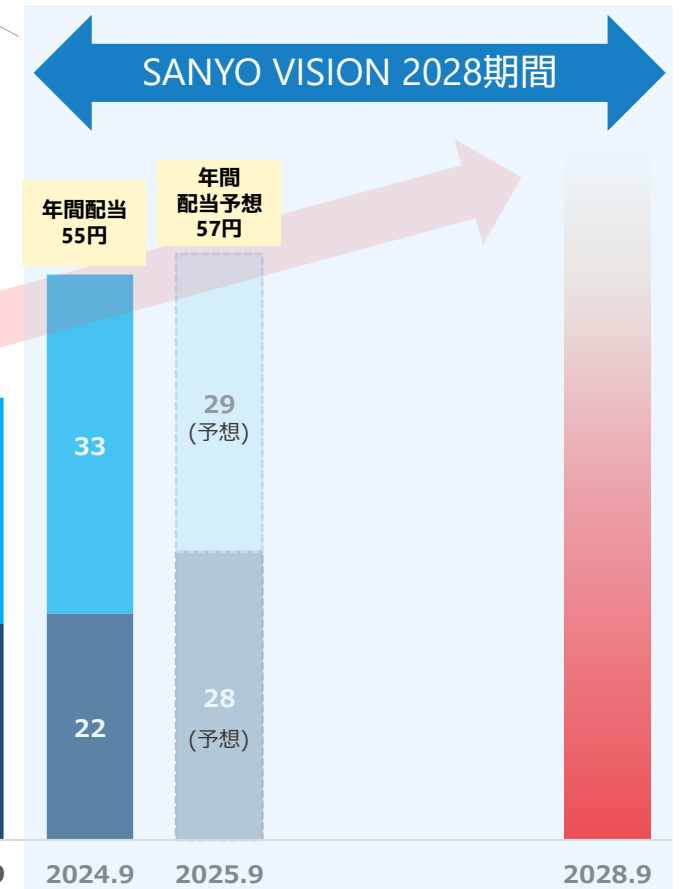
- 継続的な増配・安定配当を行う基本方針
- 「配当性向30%以上」を目途に「累進配当」を継続

(配当額：円)

1株あたり配当推移

■ 中間配当 ■ 期末配当

SANYO VISION 2028期間は
「配当性向30%以上」・「累進配当」



本日のまとめ

- 三洋貿易ならではの「よい仕事」



- 成長戦略「三本の矢」

- 潜在コアビジネスの果実化
- M&Aの推進
- 事業開発室の取り組み

- 長期安定的な配当増額



Quest for Next